

2021年度におけるジブリパーク整備の内容

I 2022年秋開業予定3エリア

2020年7月から本体工事に着手済。2022年2月までに完了し、引き続き展示・演示工事を実施します。

①青春の丘エリア (約0.8ha)



『耳をすませば』に登場する「地球屋」、「ロータリー広場」、『猫の恩返し』に登場する「猫の事務所」を設置します。また、既存のエレベーター棟を改修し、『天空の城ラピュタ』や『ハウルの動く城』などに出てくる19世紀末の空想科学的要素を取り入れた内外装とします。

②ジブリの大倉庫エリア (約0.8ha)



「倉庫」らしさと懐かしさを感じる和洋折衷の建築空間をイメージしながら、常設展示室、企画展示室、映像展示室、遊び場、売店と喫茶、収蔵施設等を整備します。2021年度に実施する展示・演示工事では、スタジオジブリ作品に登場する様々な世界を再現し、来場者の方々に楽しんでいただける空間を作ります。

③どんどこ森エリア (約1.8ha)

既存の「サツキとメイの家」に加えて、映画『となりのトトロ』の昭和の田園景観をイメージしながら、映画の世界観がより身近に、より深く感じられ、お子様も楽しめるような散策路等を整備します。



愛・地球博記念公園



II Iから概ね1年後に開業予定の2エリア

2020年度中に完了した実施設計の成果に基づき、2021年度に本体工事に着手します。

④もののけの里エリア (約0.8ha)



映画『もののけ姫』のエミシの村とタタラ場をもとにした和風の里山的風景を整備イメージにして、「タタラ場(体験学習施設)」、「炭焼き小屋」、休憩処等を整備します。

⑤魔女の谷エリア (約2.9ha)



エリア内に整備予定の施設 CG パース
※表面のイメージは完成時とは異なります。

映画『魔女の宅急便』、『ハウルの動く城』などの北ヨーロッパ風の空間をイメージしながら、「オキノ邸」と庭園、「ハウルの城」と荒地、レストラン棟等を整備します。